

14/18  
福井

# 論説

## 建設統計書が換え

3年前に厚生労働省の

「毎月労働統計調査」の不

正が発覚し、政策判断のゆ

がみや国際的な信用失墜に

つながりかねない」とを想

い知られれたはずなのに、

またも統計の書き換えがま

かり通っていたことにあ

れるばかりだ。

今回発覚したのは、国土

交通省が都道府県に委託し

て毎月調査している「建設

工事受注動態統計調査」。

統計法に基づいて53の基幹統

計調査の一つで、建設業者

の受注動向を把握し、経済

・社会施策の基礎資料とし

てこむ。国内総生産(GDP)反映されれば、中企業支援を検討する際には不況緩和の指定期にも使われるといふところ。

書き換えは都道府県を通じ、全国1万2千業者に対して毎月の受注額を報告し書き換え指示」が打つめ

## すさん処理、徹底究明せよ

たもの、今年の頭まで国

交渉職員が書き換えを

された月の受注額として処

理してたとされる。その

際、業者の回答を適し「今

うした事が上がらなかつたわけではな

い」と何の意味があらわ

る」と何の意味があらわ

る」と何の意味があらわ

る」と何の意味があらわ

たもので、今年の頭まで国交渉職員が書き換えをした」と答弁したもの。間違つてきた」とした。岸田文雄首相は「正常化したり、隠蔽したりする」との指摘もあった。國交省内部からも「かせむ」との指摘もある。第三者は国交省の言ふことをのみにせず、徹底した調査で真相を明かさる必要があるだけ。